

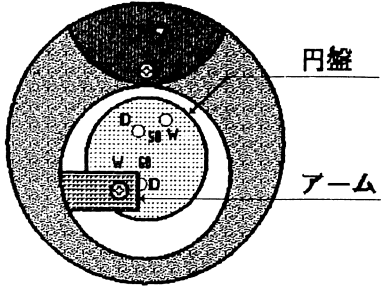
テンタルスチーマー『ロコモ』

目次

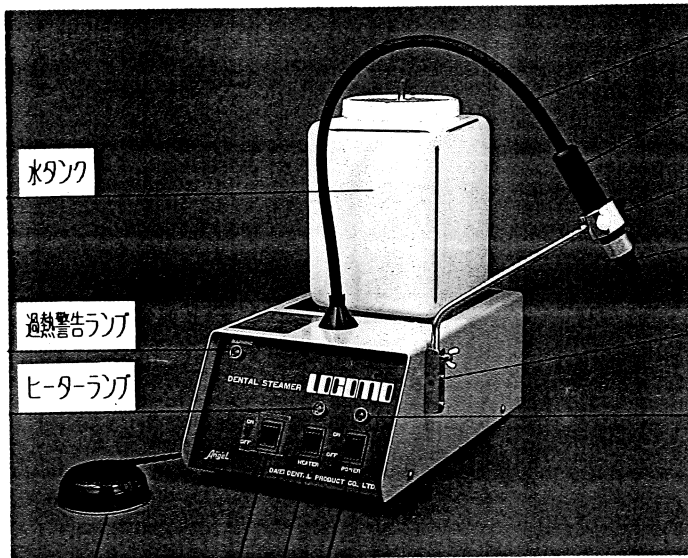
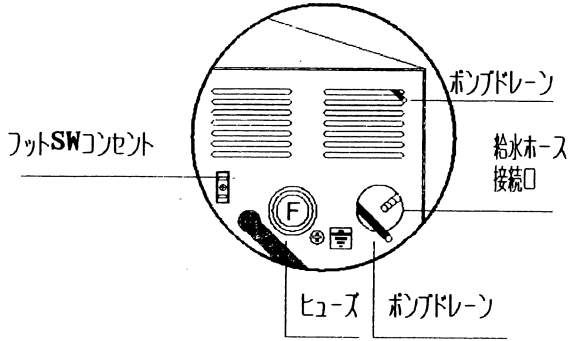
1. 各部名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ページ
2. 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ページ
3. 付属品・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ページ
4. 設置方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ページ
5. 使用準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ページ
6. 使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ページ
7. スチームの切り替え・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ページ
8. 水の補充・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ページ
9. 本体内部洗浄・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ページ
- 10. 故障対策**・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ページ
- 11. その他**・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ページ
- 12. お願い**・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ページ

1. 各部名称

本体左側面 図2



本体裏面 図1



ハンドピースホース

ハンドピース

ハンドピースホルダーアーム

ノズル

止めネジ(左右2カ所)

電源スイッチ

ヒータースイッチ

連続スイッチ

フットスイッチ

2 仕様

寸法 : **W240×H145×D350**

電源 : **AC100V 1450W**

: (50Hz/60Hz)

重量 : **7.0 kg**

蒸気発生 : 貫流式特殊小型ボイラー

安全弁 : **9.5kg/cm²**

消費水量 : **110ml/min**

水タンク : 容量**4ℓ**

使用水質 : 一般水道水

切替装置 { 50Hz・60Hz

ウエットスチーム

ドライスチーム

3 付属

スチームホース(ノズル付) **60cm** 1本

水タンク・給水ホース (フィルター付) **1本**

フットスイッチ(モーメンタリー式) **1ヶ**

ハンドピースホルダーアーム **1ヶ**

アーム固定用ネジ(外部用) **2本**

ミネラル溶解洗浄液 (**500cc**) **1本**

水注入器(注射器) **1ヶ**

↑水が吸水利ない場合、強制的に吸水弁から水を入れる。

4. 設置方法

1. AC100V-15A・(50Hz/60Hz)が使える専用コンセントを準備して下さい。
感電事故防止の為、アース(第3種接地工事)は、必ず取り付けて下さい。
2. 流し台かその近辺のできるだけ水平な台を選び、設置して下さい。
3. 本体は壁から10cm以上離して下さい。
4. ハンドピースホルダーアームを左右いずれか側に(本体側面)止めメジで固定して下さい。
5. スチームホースを本体天面接続口(スケルトンフィルター付)に取り付けて下さい。
6. フットSWは、裏面コンセントに接続して下さい。(図1参)
7. 水タンクを本体天面(ガラス)に置き、給水ホースを裏面接続口に取り付ける。(図1参)
給水ホースのフィルターが付いている方をタンクに入れ、もう一方を本体に接続する。水タンクのみ他へ設置する場合、本体より高い位置の方が望ましい。

5. 使用準備

1. 水タンクに4ℓの水道水を満たして、給水ホースを取り付けて下さい。
2. 電源SWを入れ、フットSWを踏み、ポンプを作動して下さい。
約20秒で、ノズルから水が噴出します。(本体内部に水を充満する)
ノズルから水が噴出しない場合は、付属の水注入器(注射器)に水を入れ、本体給水口と直結し、強制的に水を注入して下さい。
3. 上記作業は、新規購入時及び水切れ後(水の補充時)に行う操作です。

6. 使用方法

1. 使用準備操作を終えた事を確認して下さい。(ヒーターSWは入れない)
 2. 電源SWを入れて(メインランプ点灯)下さい。次に連続スイッチを入れノズルから水だけを出す。
 3. ヒーターSWを入れ(ヒーターランプ点灯)、3~5分で使用可能(ランプ点灯)となります。
ヒーターランプはヒーターの通電状態を表示し、使用可能状態とは関係ない。
 4. フットSWは踏んでいる間だけ、スチームが噴出します。(モーメントリミットスイッチ)
 5. 洗浄物はノズルから2~5cm離し、スチームに対して直角に当てて下さい
高圧スチームの微細な粒子によって洗浄物は、瞬間的に洗浄されます。
 6. スチームは、連続噴射(5分以上)を避け、短時間の間欠噴射で使って下さい。
連続使用時(5分以上)、自動的に運転を停止する事があります。
ヒーターSWを切り、本体の冷却を待って再使用して下さい。
 7. 連続スイッチは、5分以内でご使用下さい。
 8. 一日の作業終了後は、必ず電源スイッチを切って下さい。
- 【注意】
- a. 使用中、本体及びスチームホース接続部・スチームホース・ノズルは高温になりますご注意ください。
 - b. 過熱警告ランプの点灯は、熱交換器がオーバーヒートの時点燈します。
直ちに、水の補充又は、各部のゴミによる目詰まりを点検して下さい。
 - c. 凍結の恐れがある日は、電源スイッチを切る前に次の操作をして下さい。
 1. ヒーターSWを切り、水タンクから給水ホースを抜く。
 2. フットSWを踏み、本体内に残留する水を噴出し、電源SWを切る
 3. 後日使用前に、必ず使用準備操作を行って下さい。

7. 各種切り替え

1. 本体左側面の窓を開けて下さい。(図2)
2. 中の円盤に50Hz・60Hz、及びW(ウェットモード)・D(ドライモード)の表示を確認し、円盤に固定されたアームを、希望位置に固定しなおして下さい。

【注意】

- a. 本製品の出荷時は、ウェットスチームが噴出する様に設定しています。
 - b. ご希望により、上記操作でW・Dを切り替えて下さい
- ウェットモード : スチームに含まれる水分が多く、白いスチームを発生します。
主に、模様が付着したワックスの洗浄・補綴物の汚れ落としに利用。
- ドライモード : スチームに含まれる水分が少なく、青白いスチームを発生します。
主にポーセレン等の洗浄に利用。

保守・点検

8. 水の補充

1. タンク内の水が無くなりそのまま使用すると、過熱警告ランプが点灯します。直ちに使用を中止し、水の補充を行って下さい。
2. 給水ホースから空気が混入した場合、⑤の使用準備操作を行って下さい。

9. 本体内部洗浄

(3～6カ月に1回程度)

1. ヒーターSWを切り、熱交換器内の温度を常温まで下げて下さい。
2. ミネラル溶解洗浄液(500cc)に給水ホース(フィルター側)と、ノズルをはずしたハンドピースを入れます。
3. フットSWを踏み、5分間位続けて洗浄液を循環させます。
4. 3.の操作終了後そのままの状態、電源SWを切り一晩(時間厳守)放置する
5. 翌日、洗浄液を再度循環(約5分間)させます。
6. ノズルをはずしたハンドピースを流し台に、給水ホースを水タンクに移します。
7. フットSWを踏み数分間(約5分間)水で本体内の洗浄液・不純物を洗い流す。

『注意』

本体内部の洗浄時には、必ずノズルをはずす事。(目詰まりの原因)
ミネラル溶解洗浄液は24時間以上放置しない事。(他のトラブル発生)

10. 故障対策

スチーム圧が弱くなった時

- a. ノズルの目詰まり・・・ノズル内の不純物除去
- b. 水タンクの水切れ・・・水の補充
- c. ポンプの送流量が少ない・・・ピストン弁交換(正轉 110ml/min)
ピストンオイルの不良

11 そ の 他

〔故障点検〕

万一故障が発生した場合は、販売店又は当社までご連絡下さい。
修理調整は全て大榮に依頼し、使用者側では行わないで下さい。

〔発送注意〕

発送される時は、本体(熱交換器)の温度を常温まで下げて下さい。
水タンクの水及び熱交換器内の水を、完全に抜き取って下さい。

〔保証〕

当社に起因する故障の場合は、保証規定に基づき1年間は無償で修理致します。但し、次の場合は除かせて頂きます。

- 保証書の日付・提示がない場合。
- 本機を使用者側で改造された場合。
- 使用者側で修理調整された場合。
- 使用者の誤った取扱によるトラブル。
- 消耗品(ノズル・ピストン弁)等。

12. お願い

本製品(テントルスチーマー『ロコモ』)は、歯科用スチームクリーナーとして開発された商品で、他の目的でご使用になる事を禁止します。

本製品は、一般水道水をご利用頂けるよう設計しておりますが、地域によりミネラル成分の多い地域や、硬水に近い地域でのご使用には、大榮までご相談下さい。

別売部品として、イオン交換樹脂を準備しております。

その他ご使用上、不明な点・質問等がありましたら、下記までご連絡下さい。

大榮歯科産業株式会社 本社 機械開発部 ☎(06)441-3332